

ボランティア募集 & イベント情報

問合せ先のないものは、
すべて鶴見区ボランティアセンター
(区社協内 ☎504-5625)へ



障害のある子どもたち(小1~高3)と一緒に、楽しい夏休みを過ごしませんか?
●内容 工作、料理、お出かけなど15コース。複数コースの参加が可能です
※プログラム内容・時間

などの詳細は区社協ホームページをご覧ください
<http://www.yturumi-shakyo.jp/>
●コース開催日 7月27日(月)・28日(火)・29日(水)・30日(木)・31日(金) 8月4日(火)・5日(水)・6日(木)・7日(金)・11日(火)・14日(金)・18日(火)・20日(木)・21日(金)・23日(日)
●対象 高校生以上
●謝礼 1,000円/1コース
※希望者にはボランティア活動証明書を発行します
●締切り 6月19日(金)必着 応募多数の場合は抽選
※初参加者研修・顔合わせ会 7月18日(土)13:30~14:45
●申込 ①希望コース②研修参加の可否③氏名④住所⑤電話⑥メールアドレス⑦年齢⑧学校名または職業名⑨応募動機などを電話、FAXかメールで ☎504-5619 ☎504-5616
メール: summerfriend@yturumi-shakyo.jp

国際理解講座 知ることから始めよう!
~神秘的国インド~

「NPO法人こんには・国際交流の会」日本語教室の学習者アニシュ アガルワルさんに故郷のお話をして頂きます。
【日時】7月12日(日) 13:30~15:30
【会場】鶴見区福祉保健活動拠点(区社協)6階・多目的研修室A
【講師】アニシュ アガルワル氏
【定員】50人(申込順)
【参加費】無料
【申込先】ハガキかFAXで、名前(ふりがな)・住所・TEL・メールアドレスを明記の上
〒230-0051 鶴見中央4-32-1 UNEXビル
鶴見区福祉保健活動拠点内 NPO法人こんには・国際交流の会 宛
☎504-5616
【問合せ】☎090-9348-8658(中村)

27年度 子育て支援ボランティア & スキルアップ講座

【日時・会場・テーマ・講師】
●6月30日(火)10:00~12:00
鶴見区福祉保健活動拠点(区社協)6階・多目的研修室A
「子育て支援ボランティアの心構え」
講師: NPO法人ポケット
●7月2日(木)10:00~12:00
鶴見市場地域ケアプラザゆうづる
「子どもの発達と保育の注意事項・親子との接し方」
講師: 鶴見大学短期大学部元教授 伊藤輝子さん
●7月13日(月)10:00~12:00
鶴見市場地域ケアプラザゆうづる
「お母さんの気持ちを聞こう」
講師: 活動ホーム幹 おもちゃ文庫支援者※
※保育士・日本子育てアドバイザー協会認定子育てアドバイザー

【定員】30人
【受講料】無料
【申込み】鶴見市場地域ケアプラザゆうづるへ来館か、FAXかメールにて ☎504-1077 ☎500-6677 メール: yuuzuru@taiju.or.jp

Let's夏ボラ2015
~始めなければ変わらない~

●内容 区内の福祉施設・作業所での体験
●対象 区内在住・在学の中高校生
●オリエンテーション 7月24日(金)15:30~16:30、または25日(土)13:30~14:30
●活動 7月29日(水)~8月15日(土)
●全体会 8月21日(金)14:00~16:00
●参加費 300円(保険料)
※活動先により交通費・食事代など自己負担あり
●申込 7月1日(水)~4日(土) 13:30~16:30
※申込用紙を区社協へ直接提出してください(本人のみ可)
申込用紙は区社協(窓口・ホームページ)と区内の中学・高校にあります

手話サークルf-net
「今日から使える手話入門講座」参加者募集

【日時】9月10日~11月26日(木曜全10回)
※9月24日、10月29日は(休み)18:30~20:30
【会場】鶴見区福祉保健活動拠点(区社協)6階
(鶴見中央4-32-1 UNEXビル)
【定員】20人
【受講料】1,000円(テキスト代含む)
【申込先】住所・氏名・電話番号を書いてFAXかメールで今井まで ☎570-6021 メール: sumi-chan-imai@ezweb.ne.jp
【締切り】7月31日(金)必着

区社協送迎サービス運転ボランティア募集

公共の交通機関を利用することが困難な高齢者、障がい者の送迎ボランティアを募集しています。
【活動日時】月曜~土曜日9:00~17:00
【条件】74歳までの方で、週2~3回以上活動ができる人・普通免許運転歴3年以上の経験があり健康で安全な運転ができること・過去2年間運転免許停止処分を受けていないこと
【その他】登録にあたっては講習があります

鶴見区社協より <http://www.yturumi-shakyo.jp/> QUOカードプレゼント!

「表紙クイズ」& 愛読者アンケート

表紙の写真を見てピンときた方、ご応募ください。応募は、はがき・FAX・Eメールで、①表紙のクイズの回答②郵便番号・住所・氏名・電話・性別・年齢③福祉つるみを手に入れた場所④ご意見・ご感想を記入の上、7月31日(必着)までに鶴見区社協「アンケート係」へ。当選は賞品の発送をもって代えさせていただきます。前号の正解は①鶴見警察署、応募者数は40名でした。区社協ホームページにクイズのヒントがあります。ぜひアクセスを。



〒230-0051 鶴見区鶴見中央4-32-1 UNEXビル5F
鶴見区社会福祉協議会
☎504-5619 ☎504-5616 Eメール: info@yturumi-shakyo.jp

編集委員/河西英彦、中村啓子、蔵本美佐子、谷亜由美、松下功

福祉 つるみ 78
点字・録音版も!

【第78号】2015年6月1日発行/編集・発行◇社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会 TEL.045-504-5619 FAX.045-504-5616



障害のある人の就労支援



表紙クイズ ここは鶴見のどこの空? 応募方法はウラ表紙をご覧ください
花のあるまちは、ホッとします
①入船公園 ②平安公園 ③汐入公園
撮影者:大谷雄二(2015年4月5日撮影)



障害のある人の就労支援

働く意欲を引き出す・高める



全部売れると
うれしいです

池田裕詞さんは現場実習でキッチンオリジンの仕事が自分に向いていると感じて就職。10種の具を使って1日平均80~100個のおにぎりを作ります。形や塩加減を整えるのに苦労したそうですが「今では自信があります。全部売れるとうれしいです」。

「お客様から声をかけられることが多いんです」と、池田さんの仕事を表現するのは、採用時から池田さんを見つめてきた教育担当の宮崎裕二さん。昼食休憩を一緒にしながら相談にのることもある障がい者雇用担当の和智浩二さんは「池田さんの意欲を引き出すことを、いつも考えて」接すると言います。



▲左からオリジン東秀株式会社採用教育部の宮崎裕二さん、池田裕詞さん、採用教育部の和智浩二さん。池田さんが勤めるオリジン弁当京急鶴見店の前で。「こうしたほうが良いと教えてくれた時は、直そうと努力します」と池田さん。宮崎さんと和智さんは「整った職場環境で、一人ひとりが力を発揮してくれることを目指します」。



障害者施設等と企業などの架け橋 よこはま障害者共同受注総合センター

4月1日、障害のある人の福祉的就労の充実や工賃向上、自立促進の一助となることを目的に開所しました。企業などからの発注促進や適正な分配、自主製品の販路拡大などのコーディネートを行うほか、市内にある障害者施設などの情報提供も進めていきます。製品の注文、作業依頼などお気軽にご相談ください。

住所 〒231-8482 中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター9階 障害者支援センター内

TEL 306-9910 FAX 306-9911 メール: juchuu@yokohamashakyo.jp

※ホームページは6月中に開設の予定です



▲担当職員の新垣孝典さんと高井康子さん（地域作業所が作るアクリル製たわし、ティッシュケースを手に）

仕事は自分のために、誰かのために

県立鶴見養護学校で進路指導にあたる室伏登留(むろふしのぼる)先生は、「高等部では3年後の卒業・就労に向けた準備は入学と同時に始まります」と、学校の取組を説明します(図)。生徒たちが仕事をする理由を理解し、社会人としての自覚を持ってもらうために保護者はもちろん、受入先の企業や自立支援員の協力を得て進めます。「仕事に就いて半年、1年と過ぎ、自信がついたり、まわりの人から喜ばれたりして手ごたえを感じてくると本人の意欲も高まっていくようです」。室伏先生は平成26年度も、就職先の決まった9人の門出を見送り、さらなる活躍を見守っています。

県立鶴見養護学校 在学中・卒業後の取組

1年	2年	3年	卒業後
<ul style="list-style-type: none"> ●保護者…入学時、就労に向けた在学中の取組を説明 ●生徒…授業を通じて指導していくことを説明・作業学習や現場実習、仕事を続けている先輩の話などを聞く など ●施設見学(保護者も参加) ●校内での仕事体験・自立支援員、進路担当教諭が就労先を開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ●校内での仕事体験(校内現場実習)・企業の協力を得て14日程度。適性や体力、集中力などを判断 ●保護者との面談・生徒の意向を第一に、職種や就労先を絞って職場実習につなげる ・自立支援員、進路担当教諭が就労先を開拓 	<ul style="list-style-type: none"> ●校内での仕事体験(校内現場実習)・春と秋の2回、それぞれ1~3週間程度 	<ul style="list-style-type: none"> ●3年間にわたって就労定着を支援 ・卒業時の担任、横浜市就労支援センターの職員が対応することも

◆特別支援学校(養護学校) 障害や病気のある児童生徒に知識や技能を身に付けさせ、一人ひとりに必要・適切な教育を行います。横浜市内には県立7校・市立12校・国立1校・私立2校があります。

◆自立支援員 進路担当の教諭と情報交換を重ねて生徒の意向や適性をもとに、就労を受け入れる企業を開拓しています。養護学校のあるエリアごとに配置され、企業で実務を経験した人もいます。

善意銀行寄付者 善意の寄付をありがとうございました

第79号(10月1日発行)で特集します

金銭寄付者(敬称略・順不同) 岩澤多鶴子(3) ●NPO法人こにちは・国際交流の会 ●上末吉二丁目町会 ●公益社団法人鶴見法人会厚生事業等推進委員会(2) ●植竹種美 ●特定非営利活動法人あしほ ●滝口房枝 ●潮田町二丁目町会 ●佐々木淳 ●佐々木悦子 ●鶴見薬剤師会 ●鶴見区自治連合会婦人部 ●小宮山慈音 ●北原春夫 ●近藤廉士 ●公益社団法人鶴見法人会女性部 ●横浜市生麦地区センター ●新鶴見文化祭実行委員会 ●駒岡地区センター、駒岡地域ケアプラザ ●高次脳機能障害横浜クラブ ●松緑神道大和山横浜教区婦人会 ●上末吉婦人会 ●匿名(10)

物品寄付者(敬称略) 吉兆グループ(4) ●中村 幸子

平成27年1月1日~4月30日 ()内は期間内の寄付回数

寄付の方法

①区社協窓口への持参(月~土 9時~17時)

②銀行振込

★物品寄付についてもご相談ください。

振込先

横浜信用金庫 鶴見駅東口支店 普通042900
社会福祉法人 横浜市鶴見区社会福祉協議会
善意銀行 伊藤 学(イトウ マナブ)

「福祉つるみ」第77号の市場中学の記事で、福祉体験学習の表記に誤りがありました。正しくは「2年生●聴覚障がい者の講話、手話学習 3年生●視覚障がい者体験(誘導・点字)」です。関係者の皆さんにお詫言いたします。

●「福祉つるみ」の発行費は、共同募金配分金を活用しています。●「福祉つるみ」では広告を募集しております。●一部地域では、障害者地域作業所が配布しています。●次号(第79号)は「善意銀行」を特集、平成27年10月1日発行です。